

2020 年度 デジタル・ビジネス研究

第 3 回研究会

開催日： 2020 年 11 月 26 日

テーマ： After コロナの日本のオープンイノベーションについて

講師： 川島 健氏 株式会社 InnoScouter 代表取締役

議事概要：

- ・ 日本はユニコーン企業も起業家も少ない一方で VC の投資総額は伸びており、起業しやすい環境になっている。VC の投資総額の半分は CVC でそのほとんどは 100 年企業である。コロナで路線変更するスタートアップが増える一方、DX の機運の中で BtoB SaaS 領域が伸びてきている。
- ・ 事業会社がオープンイノベーションに興味がある理由は新しいことをやり続けないと生きられないため。オープンイノベーションの成功例も千三つの状況だが、だんだん増えてきている。

オープンイノベーションの難しいところは個別の事業をうまくいかせる「事業開発」の目線と、企業をうまくいかせる「企業開発（コーポレートデベロップメント）」の目線がかみ合わない点。成功事例を見ると、組織を細分化するよりも一つの部門で別の KPI を置きつつ、部署間で密にコミュニケーションをとりながら進めることが重要なようだ。